

1月5日(金) / 参加者500名

令和6年新年祝賀会を開催 ～能登半島地震からの一刻も早い復旧・復興を祈念～

当所新年祝賀会を1月5日、ANAクラウンプラザホテル新潟において開催し、約500名が参加しました。冒頭、元日に発生した「能登半島地震」を受けて黙とうを行いました。その後、福田会頭が新年の挨拶を述べ、中原市長からの来賓挨拶、花角知事からのメッセージ披露の後、古町芸妓連による「正月踊り」を鑑賞しました。

〈福田会頭挨拶要旨〉

このたびの「能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々とそのご家族に対しまして、お悔やみ申し上げますとともに、被災された方々と関係各位に心よりお見舞い申し上げます。

さて、経済状況はコロナ禍からの立ち直りの兆しを見せながらも、複合的な要因により原材料費・エネルギー価格が高騰が続いていることに加え、円安傾向が続き悪いインフレが進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

昨年12月には、令和6年度の政府予算案が閣議決定され、早期の予算成立と的確な予算執行により、内閣の経済政策である「新しい資本主義」のもと、国内投資が活発化するとともに、デジタル社会への移行が進み、さらには、持続的な賃上げに繋がっていくことを期待しております。

特に賃上げに関しましては、適切な価格転嫁に向けた機運醸成を図り、しっかりと賃上げにつなげていこうということで、昨年12月に、新潟県内の行政機関と経済団体、労働団体の代表が一堂に会し、共同宣言を発出したところです。

このような中、当所では、各種補助事業の情報提供や申請支援に加え、DX推進や海外展開支援、経営力再構築伴走支援など、多岐にわたる支援策を展開し、会員事業所をはじめ、地域の中小企業・小規模事業者、さらには創業・起業を目指す方々の、未来への一歩を踏み出すお手伝いをしていきたいと考えております。

新潟地域の明るい話題としては、今年の春に、待望の新潟駅ビルが完成し、直下のバスターミナルや拡大された商業施設が開業します。

同じく夏には「佐度島の金山」の世界遺産登録が有力視されております。

当所としては、この機をとらえ、賑わい創出と交流人口の拡大につながるよう関係機関との連携強化を図ってまいります。

また、特に新潟空港に関しては、今月半ばにハルビン線が再開することで、コロナ禍以前の既存国際路線の全てが復活します。

大阪・関西万博を控えた今、インバウンドの取り込みやアウトバウンドの旅行客の増加に向け、航空路線の維持と新規航空路の開設に官民一体となって取り組んでまいります。

その一翼を担うトキエアが今月末に札幌丘珠空港への就航を開始します。今後は仙台、中部国際、神戸の各空港と、さらに将来的には佐渡と首都圏とを結ぶ路線を開設する予定と聞いております。

当所としては、地域航空会社としてのトキエアの成長による新潟の拠点性向上にも期待を寄せており、事業活動の中で、利用促進に向けた企画を立てるなど、積極的に支援してまいりますので、皆様からのご協力をよろしくお願い申し上げます。

観光の面では、貴重な観光資源である古町芸妓や料亭などの「みなとまち文化」を中心に、新潟の歴史や文化、まちの魅力などを、SNS等を通じて多様なターゲットに向けて情報発信し、来街者を増やして、地域内における消費拡大を促進していく所存です。

さらに、会員増強に向けた「パワーアップ5000」運動は、昨年末の会員数が約4,800社となり、目標達成が目前に迫っています。目標の早期実現に向け、引き続き会員紹介運動に皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝と、各事業所の更なるご繁栄、さらに、能登半島地震からの一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



挨拶する福田会頭

日本公庫は、民間金融機関の取組みを補完し、事業に取組む方々を支援する政策金融機関です。
 中小企業・小規模事業者、農林漁業者の皆さまのさらなる発展を応援します。

JFC 日本政策金融公庫
 新潟支店

国民生活事業 0570-018548	農林水産事業 025-240-8511	中小企業事業 025-244-9122
-----------------------	------------------------	------------------------

ご紹介ください！ おひとり一社

会員の皆様と共に地域経済の発展を！



会員紹介のご連絡はこちらから

お取引先、関連会社などでご入会いただいていない事業所がございましたら、是非、ご紹介くださいますようお願いいたします。

12月1日(金) / 出席者9名



荒井講師との意見交換

令和5年度 第4回企業経営委員会を開催 企業経営委員会（木山光委員長）

㈱YUIアドバイザーズ税理士の荒井 大 氏と㈱第四北越銀行の斎藤 隆史 氏を講師に迎え、「M&A」に関する勉強会を開催しました。

荒井氏からは「M & A」についての基本的な流れや税務上のポイントなどについて講義があり、また、斎藤氏からは「新潟県内のM&A状況」について、新潟県内における企業数・就業人口数の推移や事業戦略としてM & Aを活用することのメリットなどの解説がありました。

12月8日(金) / 参加者27名



グループ別に情報交換を行う様子

自社PRと異業種交流の場 今年度2回目のビジネス情報交換会を開催！

ビジネス情報交換会では、参加者同士が自社の技術・製品・サービスについての情報を交換することで、より直接的なビジネスチャンスの拡大に繋がっていただいております。

参加者は1人1分のプレゼンテーションタイムの後、グループ別に分かれ、積極的に自社のPRを行いました。参加者アンケートでは、「様々な企業の話聞いて今後のビジネスのヒントになった」、「良い雰囲気話合えた」などの声がかれました。

是非、はじめての方もお気軽にご参加ください！！

12月6日(水) / 参加者109名



参加者全員で記念撮影

新潟県女性会連合会、発足後初の研修交流会 女性会（佐野由香利会長）

新潟県商工会議所女性会連合会は今年度秋の発足以来、初めてとなる研修・交流パーティーを新潟市内で開催しました。当所女性会からは41名が参加し、県内女性会員との交流を深めました。

研修会では、燕商工会議所女性会部会 山村 則子 会長（㈲栄工業 代表取締役）より「地方産業を活性化させる、女性力～楽しくなければ、仕事じゃない！～」と題した講演があり、交流パーティーでは、新潟市出身のオペラ歌手いまい あい 氏とピアニスト斉藤 晴海 氏によるクリスマスコンサートが催されました。

12月11日(月) / 参加者56名



演奏する大平氏（左）と江口氏（右）

年末恒例の年忘れ商工クラブまつりを開催 商工クラブ（理事長：南波秀憲副会頭）

新潟商工会議所会員の親睦団体である商工クラブは、12月11日に市内のホテルにおいて年忘れ商工クラブまつりを開催しました。

乾杯後、フルーティストとして県内外で活動されている江口 鮎美 氏とギタリストの大平 直樹 氏により、クリスマスにぴったりのジャズナンバーなどが披露され、参加者はフルートとギターの美しい音色に耳を傾けました。

恒例の抽選会は大いに盛り上がり、参加者は飲食を楽しみながら懇親を深めました。

12月13日(水) / 出席者15名



開会の挨拶をする若山委員長

効率的な情報発信で会員満足度UPを目指す パワーアップ5000推進委員会 (若山良夫委員長)

パワーアップ5000推進委員会では、会員組織の拡大をテーマに令和5年度第2回目の委員会を開催しました。開会にあたり、若山委員長は「当委員会発足当初は夢のまた夢だと思っていた5000会員だが、残り200社余りと、手の届くところまで来ている。委員の皆様からは、様々な角度から忌憚のないご意見をいただきたい」と挨拶しました。

委員会では、動画でのPRや効率的な情報発信などについて活発な意見交換が行われました。

1月11日(木) / 参加者95名



講演会の様子

コミュニケーション・ストレスの原因は 「とっさに使う感性の回路の違い」だった！ 教育福祉医療部会 (渡邊毅部会長)

教育福祉医療部会では、(株)感性リサーチ 代表取締役の黒川 伊保子 氏を講師に招き、「感性コミュニケーション ～男女脳差理解による組織力アップ講座～」と題した講演会を開催しました。黒川氏は、「男女の脳は、とっさに使う感性の回路が違う傾向にあり、立場によってもこの優先回路が変わる」とし、コミュニケーション・ストレスの原因について言及しました。また、対話の奥義は「人の話は共感で聞き、自分の話は結論から話す」ことであるとし、「心理的安全性」を確保する対話術の導入が急務であると強調しました。

12月15日(金) / 参加者18名



セミナーの様子

ショート動画を活用したマーケティングについて学ぶ

グローバルマーケティング(株)の堀田 タケル 氏を講師に迎え、SNSなどを使った情報発信・販売促進セミナーを開催しました。3回シリーズで開催しており、2回目となった今回のテーマは「ショート動画活用」。

堀田氏は、ショート動画は事業の認知度向上に効果的だとし、冒頭で強烈な引きを作る、何を伝えたいかを意識する、といった、視聴数が伸びる動画のポイントなどを説明しました。

参加者は、自社のショート動画におけるターゲットや目的を定め、実際の運用に活かす方法を研修しました。

1月17日(水) 1月26日(金) / 参加者20名



熱心に耳を傾ける経営者たち

計画なくして成長なし！「勝ち抜く」ための 経営計画作成セミナー・個別相談会を開催

本間ビジネスパートナー 代表・中小企業診断士 本間 大輔 氏を講師に招き、「中小企業のための経営計画の作り方」と題してセミナー及び個別相談会を開催しました。

本間氏は、セミナーで「定性的な目標(目指す姿・行動指針など)」と「定量的な目標(売上・利益・資金計画・損益分岐点など)」、事業戦略の考え方、アクションプランなどについて説明しました。また、個別相談会では各種補助金等の経営計画書について、専門的なアドバイスを行いました。